

ppodo!!  
am to 6:00 pm  
am to 6:00 pm  
at 5:30 pm

お茶のテイラアットは  
いかがですか!!  
さっぱり煎茶  
香ばしいほうじ茶  
HOT ICE  
温・冷ご用意しております



Kyoto  
logie

京都路地入堂

茶一保堂





寺町通を上がります。

午前中なので、人通りも少なく、お店もこれからあけましょ  
みたいところが結構あります。



錦天満宮

理容  
ヘアカラー 2,800円  
カット・顔そり付(税別)

理容  
シア割引 200円  
(税別)

茶屋街唯一の神社(鎮守)  
錦天満宮  
本社・日乃出稲荷神社・塩竈神社・白太夫神社・七社  
神 土 鈴  
腹 おみくじ 帯



---

錦天満宮は新京極、寺町通りと直交してます。

わたくしも、初めて（といってももう30年ぐらい前）見たときは  
びっくりしました。

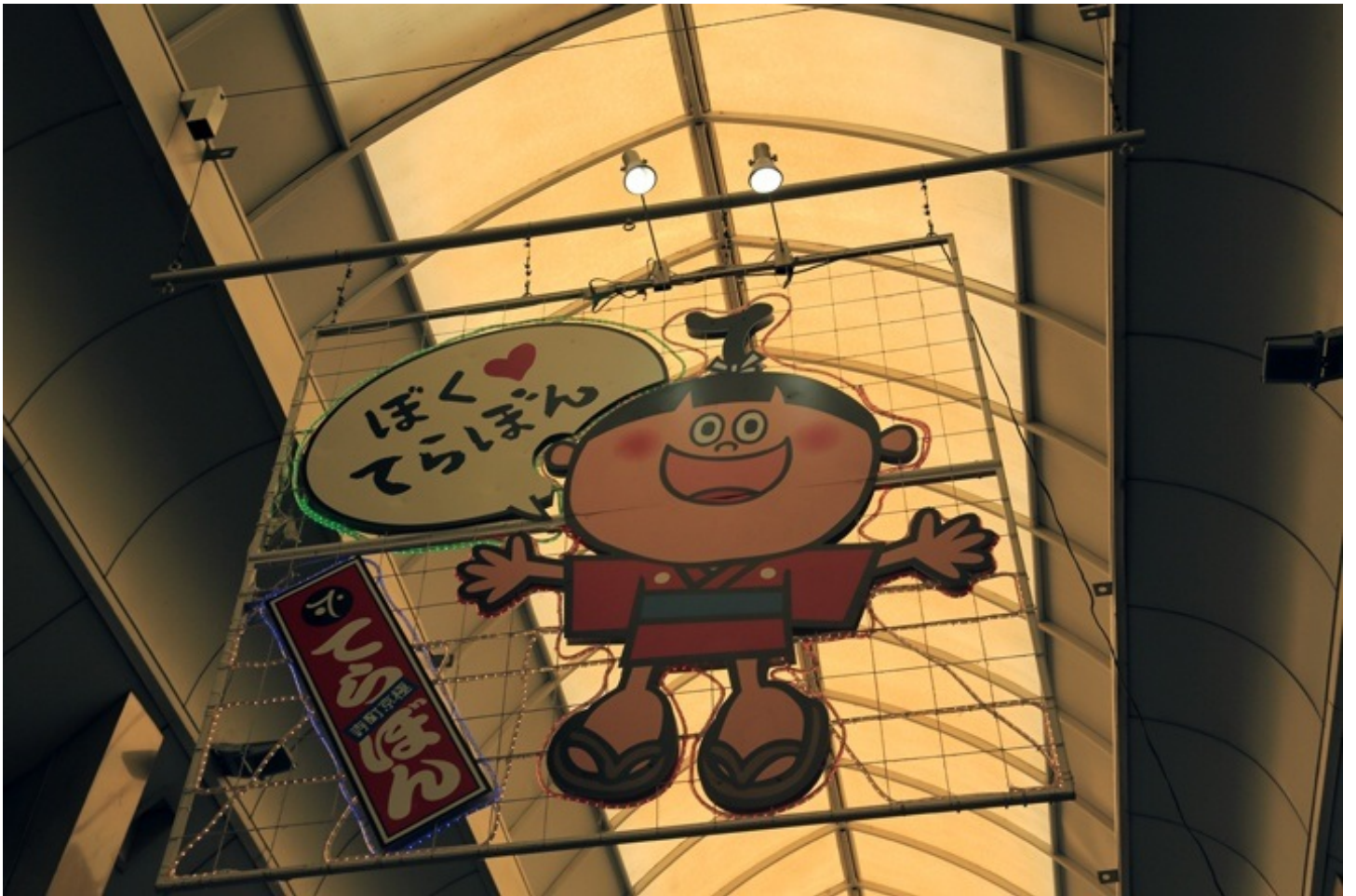
繁華街のこんなところにあるのって、見たことなかったですから。

この背中側が錦市場。





寺町通というだけあって、こんな店もあります。  
周りは飲食店、服屋さん、おたべとか、“いかがわしい日本土産”店、とか。



後ろから見たときは、カブトムシかなんかのキャラかと思いました。

多分、すぐに廃れるでしょう。

寺町通りはオタク向けのお店も何店かあって、  
日本人だけでなく、外国人も入っていきます。

すごく嬉しそうな顔で。





---

この竹籠は魚籠を摸したものでしょうか。  
こういう色になっていくのに、何年もかかるんでしょうね。  
そこに、今年この季節だけの花が活けられていて、  
わたしは一瞬、通り過ぎていくわけです。





アーケードは御池通の手前まで。  
その先にもお店が続きます。  
古本屋、テーラー、ブーランジュリー、竹細工屋、木の家具、カフェ、  
レストラン、和菓子、  
そしてここは草履屋さん。  
ダイバシティの典型のような街。



和紙を扱っておられる。

一度だけ入ったことがあります。お買い物もしました。  
普段コピー用紙しかみないので、和紙ってこんなにいろいろ  
あるんだと楽しかったです。  
中の作りもおしゃれ。






やあ、つきましたね。

うちは、普段のお茶（煎茶と玄米茶のブレンド）も一保堂さんです。

もちろん、ここまで買いに来ているわけではなく、デパートです。



**喫茶室 嘉木** かき


【営業時間】 10:00~18:00(L:017:30)

ちよっと一服、お茶とお菓子をどうぞ。  
淹れるところからお楽しみいただける喫茶室です。  
Enjoy delicious Japanese tea with a confection,  
and delight in preparing the tea yourself.

のれんをくぐって  
すぐ右側です!

<p><b>濃茶 雲門の昔</b> (濃茶) 1,100円<small>税別</small></p> <p><b>北野の昔</b> (濃茶) 1,000円<small>税別</small></p> <p><b>薄茶 京極の昔</b> (薄茶) 600円<small>税別</small></p> <p><b>関の白</b> (煎茶) 500円<small>税別</small></p>	<p><b>抹茶 Matcha</b></p> <p><b>Kitano-no-mukashi</b> (抹茶) ¥1,000<small>税別</small></p> <p><b>Usucha Kiyogoku-no-mukashi</b> (抹茶) ¥600<small>税別</small></p> <p><b>Kan-no-shiro</b> (抹茶) ¥500<small>税別</small></p>
<p><b>天下一</b> (煎茶) 1,800円<small>税別</small></p> <p><b>鱈鳳</b> (煎茶) 800円<small>税別</small></p> <p><b>くき玉露</b> 650円<small>税別</small></p>	<p><b>玉露 Gyokuro</b></p> <p><b>Tenka-ichi</b> (玉露) ¥1,800<small>税別</small></p> <p><b>Rimpo</b> (玉露) ¥800<small>税別</small></p> <p><b>Kuki Gyokuro itenai</b> (玉露) ¥650<small>税別</small></p>
<p><b>嘉木</b> (煎茶) 750円<small>税別</small></p> <p><b>芳泉</b> (煎茶) 600円<small>税別</small></p> <p><b>くき煎茶</b> 550円<small>税別</small></p> <p><b>オーガニック煎茶</b> 800円<small>税別</small></p>	<p><b>煎茶 Sencha</b></p> <p><b>Kaboku</b> (煎茶) ¥750<small>税別</small></p> <p><b>Hosen</b> (煎茶) ¥600<small>税別</small></p> <p><b>Kuki Sencha itenai</b> (煎茶) ¥550<small>税別</small></p> <p><b>Organic Sencha</b> (オーガニック煎茶) ¥800<small>税別</small></p>
<p><b>極上ほうじ茶</b> 500円<small>税別</small></p> <p><b>極上玄米茶</b> 500円<small>税別</small></p>	<p><b>番茶 Bancha</b></p> <p><b>Hojicha</b> (煎上ほうじ茶) ¥500<small>税別</small></p> <p><b>Genmaicha</b> (煎上玄米茶) ¥500<small>税別</small></p>



**新茶 Shincha**  
750円税別  
(100g)

宇治産、無農薬、  
100%国産の新鮮な、  
お茶の葉を  
お楽しみください。

Japan's Shincha is the first  
made tea of the new season.

宇治茶産地

本店には喫茶室が付いていて、お店の人が煎茶の入れ方を  
教えてくださいます。

ぜひ、習わねば、、、と、ここまでは思っていたんですね。





店内はカウンター席と4人掛けが10卓ほど。  
まあまあ広いです。  
こんなに暗い印象ではないですが、明るくもないです。



窓際だとこんな感じ。  
空いていたので静かでした。  
女性って、どうしてみずから静穏を破るんでしょうね。





お抹茶をふるいにかけているところ  
なんか、ええわあ。









カウンターの端っこに鎮座ましましている茶釜。  
珈琲屋さんだったら、大型のグラインダーが置いてある位置。

なんか、可笑しい。





本店なんで、もちろん茶も売っている。  
店員さんの背の伸び方が素晴らしい。

一保堂さんは、デパートだろうがどこだろうが、  
店員さんはいい人ばかりです。

デパートの店員で、ときどき”ハズレ”が居てはるんですよね。



今日のお菓子。  
ちょっとわかりにくいですが、  
小指の先大にうっすらと黄色が入ってます。

蛍ですよ蛍。  
お皿も草の葉の絵に、薄ピンクの窯変が蛍が舞ってる  
ようにも見える。直径10センチほどの器の上に、  
初夏の宵が。

この席は、自然光がよく入るので、このお菓子にぴったりだそうです。





こちらは紫陽花。

つるんとした小皿がみずみずしい。  
上に乗ってるゼリーも、水滴のよう。

お茶には全部お菓子が付いています。



はい。お薄をお願いしました。  
煎茶にするつもりだったんですけどね。  
やっぱり、お菓子付きとなると、どうもお抹茶の方になってしまう。

細かいクリーミーな泡。  
わたくしが立てると、この2倍ぐらいの粒になってしまう。

そして、当然のごとく、味が違う。  
美味しい。



同行人の青もみじの模様です。





わたくしのは黒茶碗

開いて、絞って、さらに絞り込むというこの微妙な曲線が気に入りました。

自分で言うのもなんですが、うまいこと撮れてるなあ、これ。



午前中なので、お客さんも少なくて、のんびりしました。





---

うーむ？ ねずみ？









### 茶壺

上から順に年代順というかんじかなあ。  
備前ぽい色気がする。聞いとけばよかった。



そして店内。

うちがいつも買っているのは、  
左から7番目の玄米茶と9番目の煎茶。

どうでもいいか、そんなこと。



テイクアウト用のカップ。

これ欲しかったー！  
次は絶対テイクアウトします。





外人さん試飲中。  
英語対応なさっています。

味的には、どうか感じるんでしょうね。  
美味しいと感じるには、多少の慣れは必要だとも思うのです。



一保堂の缶の絵柄も素敵なんですが、これは色使いといい  
ロゴタイプといい、独創的というか、突き抜けてるといふか。





お店を出たところの街路に紫陽花が咲いていました。  
お菓子にまで季節感を写し込むなんて。

事細かに描写をするのが西洋のレトリックとすれば、  
俳句のようにそぎ落とした言葉で想像力と  
余韻で感じさせるところが和菓子。





同じ寺町通りにあるBoulangerie de la Liberté'



パン買って帰ります。  
買ったのはこれじゃなくて、パンドミ。





鳩居堂のウィンドウ  
(笑)



[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ 2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10 午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙 2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue \\_ ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue \\_ ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue \\_ ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillion」](#)

[Photo「H.45」](#)

Photo 「Fly me to Paris I ～XIV」

[Photo 「祇王 こけのころも」](#)

[Photo 「空と雨と6月と」](#)

小説

「ネガティブズ2」

[「ネガティブズ」](#)

[Photo 「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo 「空と僕と自転車と」](#)

[Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo 「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo 「空と木とたまに月」](#)

[Photo 「からくれないに」](#)

[Photo 「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo 「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集 「ただ憧憬だけを」](#)

[画集 「彼と彼女の表紙画集」](#)